

法遍寺 から大切な 皆様へ

2019年9月1日

日蓮正宗 年間方針

勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

誓願達成

罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

異体同心の団結

折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

心身浄化

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2019年8月11日の御報恩御講の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

私たち人間のことを仏法では凡夫といい、煩惱・業・苦に束縛され迷いの世界をくり返す衆生のことを意味します。人は根本的に「無明(むみょう)」という煩惱を具えており、そこから離れることも、これを無くすこともできません。大聖人は、この無明も妙法信仰の力によりそのまま「無明 即 法性(ほっしょう)」の生命として転換させる功德を説いています。一見のところ剛直に見える人も、一大事が起きたり、いざという時は、本性や本音が現れて、実に情けない姿に陥ります。大聖人は次のように仰せです。「我等凡夫のつたなさは経論に有る事も遠き事はおそるる心なし」(御書1397頁)と。私たち凡夫の愚かしさは、経論に誠められていることも、自分には縁のない遠いこととして怖れないことだ、と。日々に積むこの信心で着実に人生を変えていきましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ

創価学会が昭和26年11月に初版を発行した「折伏経典」をご存じでしょうか。その中の「御本仏日蓮大聖人と御本尊」の節には次のように述べられています。「根本の本尊たる一閻浮提総与の大御本尊に向かって、南無妙法蓮華経と唱題することによって、末法は一切衆生は救われるのである。この一閻浮提総与の大御本尊は弘安二年十月十二日にあらわれ、この大御本尊を拝む以外に末法の衆生は根本的に幸福になれないのである。(中略)今日、厳然として日蓮正宗富士大石寺に蔽護され、学会員は登山して御開扉をうけ、拝することができる」(70頁)と述べられています。この法理を離れて日蓮大聖人の仏法はなく、日蓮正宗を離れて大聖人の仏法は存在しないことを知らなければなりません。

③ 信仰に関心が持てない方へ

「自己の信念が宗教だ」と豪語する人がおります。人生において信念を持つという事は大変尊いものと思いますが、その信念にも大局的な意味もあれば、部分的な事柄もあります。また時代や環境・年齢によって信念が変化することも多いことでしょう。そもそも宗教とは、真理を悟り究めた聖者が、人々のために根本の正しい道を説き示すものでなければなりません。正しい宗教とは法界の真理を悟り究めた仏の教えであり、人生にとって不変の根本原理として、すべての人々を安穏な境界に導くとともに、人間に勇氣と希望と活力を与える源泉なのです。あなたの信念をより正しく充実させ、しかも人生のうえで立派に結実させるためには、主体者であるあなた自身が大地のごとき正しい仏法に帰依し、信仰に励むことが絶対に必要なのです。必ず人生を変えることができます。ご来訪をお待ちしています。